

# 算数科年間指導計画

## 第5学年

### 学習目標

- (1) 小数及び分数の意味や表し方についての理解を深める。また、小数の乗法及び除法の意味について理解し、それらの計算の仕方を考え、適切に用いることができるようにするとともに、分数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにする。
- (2) 面積の求め方についての理解を深めるとともに、基本的な平面図形の面積を求めることができるようにする。
- (3) 図形を構成要素及びそれらの位置関係に着目して考察し、基本的な平面図形についての理解を一層深めることができるようにする。
- (4) 百分率や円グラフを用いるなど、統計的に考察することができるようにするとともに、数量の関係を式で表したり、式をよんだり、その関係を調べたりすることができるようにする。

### 授業の工夫

指導に当たっては、論理的な思考力や直感力を育てるために、様々な事象を考察するときに、児童が意欲的・体験的な算数的活動ができる場面をできるだけ多く設定するよう工夫したいと考えます。また、基礎・基本の徹底を図るなど、創意工夫のもと、計画的に指導したいと考えます。

### 年間授業計画

月	単元名	時数		
4	1. 小数と整数	14	<p>〔評価の観点〕 【算数への関心・意欲・態度】 数量や図形の性質や関係などに着目して考察処理したり、論理的に考えたりすることの良さに気づき、進んで活用したり、発展的、統合的に考えたりする。</p> <p>【数学的な考え方】 算数的活動を通して、数学的な考え方の基礎を身に付け、事象について見通しをもち筋道を立てて考える。</p> <p>【数量や図形についての表現・処理】 小数や分数の計算が確実にでき、それらを用いるとともに、図形の面積を求めたり、図形の性質を調べたり、数量の関係などを表したりする。</p> <p>【数量や図形についての知識・理解】 数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、小数や分数の計算の意味、面積の求め方、基本的な図形の意味や性質及び数量の関係の表し方や調べ方を理解している。</p>	
5	2. 概算 3. 小数のかけ算	14		
6	3. 小数のかけ算 4. 垂直と平行	14		
7	5. いろいろな四角形	6		
9	6. 小数のわり算	16		
10	6. 小数のわり算 7. 図形の角	15		
11	8. 図形の面積	17		
12	9. 分数	16		
1	10. 円	12		
2	11. 割合とグラフ	15		<p>〔評価の方法〕 単元ごとのテスト・小テストなどを中心に、宿題・学習態度・発表などを加味して評価をします。</p>
3	11. 割合とグラフ 12. 5年のまとめ	11		
年間授業時数		150		